

山行報告書

作成:2013年11月10日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	小白木山 1234.5m	目的[方法]	自然観察
期間	2013年10月12日(土)	形態	日帰りピストン
参加人数	4人(会員外1)		

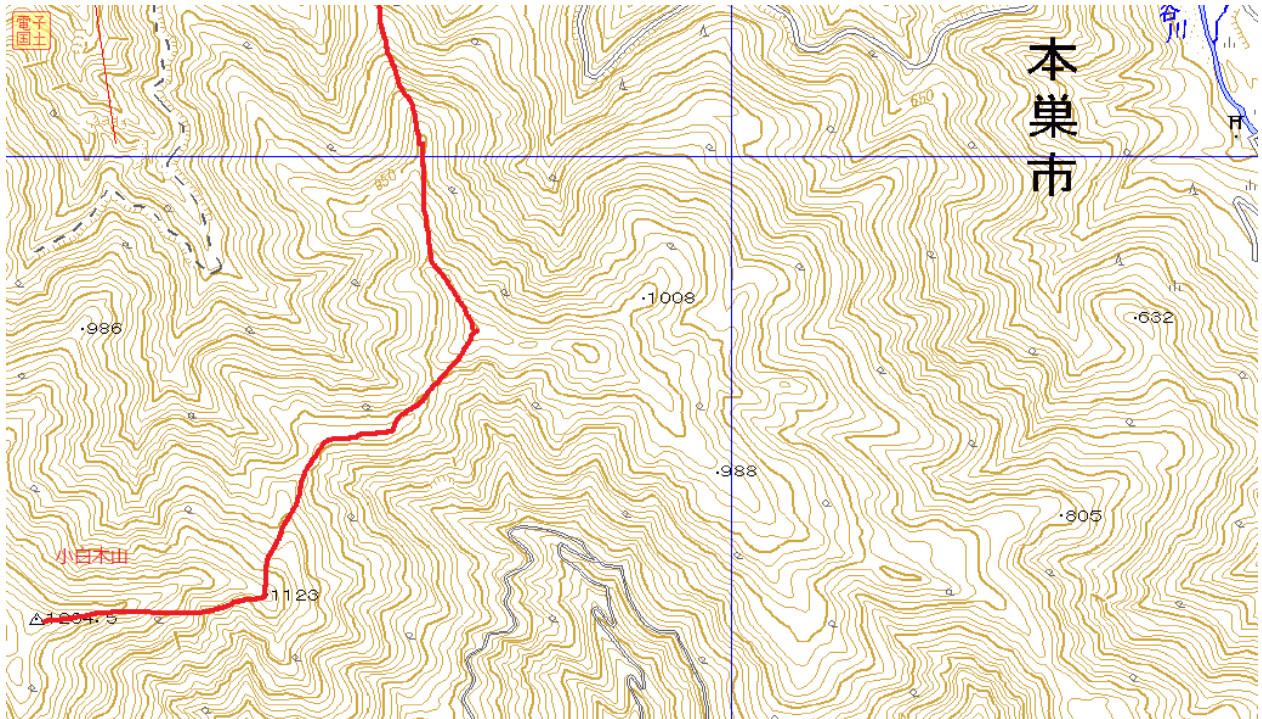
行動記録:

◇10/12(土) 曇り時々晴れ、小雨、風強し

U宅(530) ==0:10== 岡崎 IC(540) ==1:10== 関広見 IC(650) =R418=R255=上大須(7:53)=折越林道=0:20
 =折越峠P登山口(8:13,8:30)-0:50-根上がり桧(9:20,10:00)-0:25-小白木山頂(10:35,11:15)-0:55-
 根上がり桧(12:00)-0:35-登山口折越峠P(12:35,12:45)=0:15=上大須ダム=0:45=武芸川温泉(13:45,15:
 00)=0:05=美濃 IC(15:05)=0:45=鞍ヶ池ハイウェイオアシス(15:50,16:00)=0:20=岡崎 IC(16:20)=U宅(16:
 30)

歩行距離 約 5.6km 標高差 約 684m

概念図:



日誌:天候を心配しながら高速に入る。折越峠工事中の看板を気にかけて峠まで行く。案の定、峠付近には大きな工事車が道をふさいでいる。ポイントとなるお地藏さんも陰に隠れている。見上げると登り口の斜面が大きく崩れていて、砂防工事中である。工事が始まると完全に道は封鎖。12時~13時までの休憩中は通行可なので、それまでに帰ってくる予定を立てた。

登山口の階段も崩れ落ちて、尾根の道も崩れている。工事のために切り取られた木々の間を歩いて登りにかかる。登り始めると反射板が2体立った小白木山が見える。中部電力の点検整備のために作られた道が登山道になっているようだ。しかし、最近道の整備がされていないのか、登り始めると笹が足に引っかかる半藪漕ぎ状態である。蜘蛛の巣が顔に引っかかる。手前のピークには以前は鉄塔が立っていたようであるが、撤去されていた。仕事を終えてしまったようである。稜線を下って山頂に向かう。山頂付近になると、背高く藪が覆っている。山頂は広く切り開かれており、高さ十メートルはある大きな反射板が設置されている。いずれこの反射板も撤去されることになると、この登山道も廃道になってしまうと予想される。

曇っていて山容ははっきりしないが屏風岩らしき山が正面に見えた。下山は1時間半ぐらいで登山口に着く。工事の休憩時間に車の移動ができた。

帰路に武芸川温泉に入り岡崎に16:30には到着できた。

感想:岐阜の山は手軽でよい。しかしながら天候が安定しないことが多いのが難点である。季節に合わせて楽しみたい。

参加者名